

台湾横浜輪胎股份有限公司 CSRレポート

事業内容: 自動車用タイヤの販売
敷地面積: 307m²
従業員数: 17人(2009年6月末現在)
所在地: Suite 601 6th Floor No.88, Sec 2, Chung Hsiao E.rd, Taipei, Taiwan R.O.C
 TEL+886-2-2356-8528



社長ご挨拶



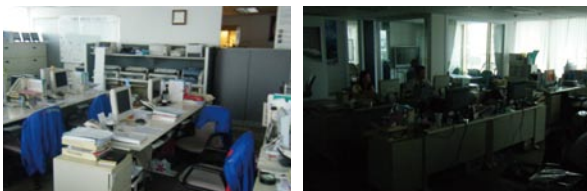
橋本 久雄

近年、地球温暖化が原因と思われる異常気象が世界各国で起こっています。ラクイラサミットでも、温室効果ガスの排出量規制の具体的な数値が提案されました。横浜ゴムではこれに先んじて、すでに「環境宣言」を行い、具体的活動を国内外で展開していますが、私たちも横浜ゴムグループの一員として台湾国内において、温暖化防止、環境保護の大切さを訴え、具体的活動を行っています。2009年は「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクトに加え、台湾大学と共同ですすめていた、種子から育てた苗木を植林し、温暖化防止ならびに生態系保護活動の展開を図ります。また、低燃費タイヤ「Earth-1」の販売を開始し、「静粛性タイヤの横浜」として市場で好評をいただいておりますが、下期からは「環境貢献の横浜」を目指す活動を展開していきたいと思っております。

主な環境・社会貢献活動

省エネ活動の強化

5月1日～10月31日の期間のクールビズ導入、昼休みの完全消灯を実施しました。2009年8月から月に1回、通勤に電車、バスなどの公共交通を利用する「ノーカーデー」を実施しているほか、一斉定時退社日を設ける予定です。



昼休み完全消灯の様子(左:消灯前、右:消灯後)

地域との交流活動

2009年9月に台北北部の満里海岸の清掃を全員参加で行う計画です。2008年は当社ホームページをリニューアルし、横浜ゴムの環境への取り組みを掲載したほか、当社の環境への取り組みを、順次掲載していきます。

2009年度環境方針

台湾横浜タイヤ環境方針

弊社は「良心と専門技術」を企業経営の精神として、国際基準、さらにはそれをもっとすすめた基準に沿って、環境に優しいタイヤを提供致します。法令順守と人間性溢れる環境づくりをし、また、継続的な改善活動により、環境汚染、財産損失を軽減するため、最善を尽くす事を宣言致します。そのため我々は、以下の三点を実施いたします。

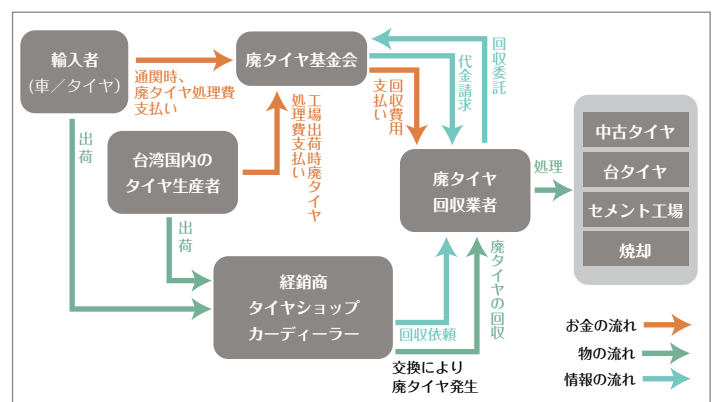
- (1) 社内のコミュニケーションを通じ、環境に関連する法令の点検と常に最新のものの把握と社内展開を行なう。
 - (2) エネルギー、廃棄物の削減を図り、環境汚染予防に努力する。
 - (3) 環境改善を進めるため、管理者によるチェック機能を社内に確立する。
- 以上の方針については、必要時、一般に情報開示します。

2009年度取り組みテーマ

- (1) 社内体制の強化と環境活動計画書を作成し、着実に実行していく。
 - ・ホームページなどで政府機関、民間団体の環境保護活動を検索し台湾横浜全員参加可能なイベントを実行計画書に織り込む。
 - ・各部門参画の環境保護推進チームを作り、1回/月の社内環境会議を開催し、実行計画書のフォローを行う。
- (2) 横浜の環境負荷低減商品(Earth-1)の台湾上市時、YTTのホームページに記事を掲載し、横浜ファミリーの環境に対する意識高揚を図る。
- (3) さらに、省エネ、資源の節約を図る。
 - ・昼休み時間帯の消灯、ペーパーレス化

廃タイヤ管理への取り組み

廃タイヤを徹底管理し、リサイクルなど再資源化するシステムを構築しています。



※当社は複合施設内にあるため、環境データを個別に集計することができません。